

計画見直しにあたっての重点項目

●現行計画における豊中農業の課題

- 課題1：営農継続に向けた支援と多様な担い手の確保
- 課題2：豊中農業の強みを生かした農業経営の安定
- 課題3：農地の積極的な保全・活用
- 課題4：農業者と事業者・市民の情報共有（ミスマッチの解消）
- 課題5：市民に対する豊中農業への一層の理解（認知）
- 課題6：地域コミュニティと連動した農地の活用
- 課題7：関係者間の連携体制やコーディネート機能の強化

計画の中間年にあたる現状においても課題に大きな変化はないと考えるが、本市農業従事者の高齢化や転用等により農地が減少する一方で、市民農園利用や農業体験利用など農に関心のある市民は増加し、都市農地に求められる機能のなかにおいてもコミュニティ醸成や景観形成、こどもへの教育の場としての役割が期待されている。こうした状況を踏まえ、計画の残期間は現行計画の基本的な方向性を継承しつつ、以下の点を重点的に取組みを進めることとする。



重点項目（案）

*新チャレ＝新チャレンジプロジェクト

- ① 安心して農業を継続するための農家支援
農地利用の最適化推進（*新チャレ4）、農地所有者以外による農地の保全・活用（新チャレ3・4）、農業施設等の導入支援
- ② 農地を存続、保全するための支援
都市農地の賃借円滑化（新チャレ4）
- ③ 豊中農業の理解促進
農業体験の推進（新チャレ1）
- ④ 市民農園を通じたコミュニティ形成
市民農園の整備・運営及び開設支援（新チャレ2）、コミュニティ型市民農園の創出（新チャレ3）、農業体験の推進（新チャレ1）